

かほく あい こども園だより 8月号



令和6年7月31日 第5号
発行責任者 園長 志田 道広

ジャガイモの収穫に思う

～ 付きたい力 育みたい心 ～

先日、年長組のおともだちが園庭西側の畑に育ったジャガイモを収穫しました。当日は雨こそ降らなかったものの、朝から蒸し暑く、汗だくになっての作業になりました。

自分たちが植え付けたジャガイモということもあったのでしょうか、一生懸命に作業する様子がみられました。顔を真っ赤にしながらも、土の中からポコポコ顔を出すジャガイモに驚き、喜びながら作業を進め、たくさんのジャガイモが採れました。採れたジャガイモは給食や、年長組のおともだちが今度作るカレーの具材として使われますが、おすそ分けで各家庭に持って帰りました。

園児ご家庭で、早速、ポテトサラダやフライドポテト、ポテトチップなどにして、家族で味わってくださったようで、その連絡を読ませていただきながら、おうちの方々の対応をありがたく思ったところです。

ほんの数個のジャガイモですが、子どもさんの思いを大事にしてくださっていると感じました。ジャガイモを通してどのような親子の会話があったかはわかりませんが、「おいしそうなジャガイモねー。」 「すごいね、〇〇ちゃんたちが育てたの？」 「暑い中がんばったんだねー。」というおうちの人の声が聞こえてきそうです。そんな言葉に子どもたちは喜びを覚え、そして、よりジャガイモ好き、野菜好きになりそうに思います。

園で様々な野菜を栽培し、給食で提供しています。その流れは、子どもたちの食の広がりにも影響が大きいだろうと考え、続けています。最近の子どもたちに不人気なナスも育て給食で提供していますが、食べ慣れていくことで抵抗感が薄れる、食べられたことで次につながるということもあると思います。時々顔を見せるハート型や星形の園産キュウリを見つけると私もうれしくなります。その上に、後押しとしての今回のようなご家庭の対応はより効果的に働くのではと思うのです。

自分が持ち帰ったジャガイモを料理してくれているおうちの人の様子や、できあがったジャガイモ料理を子どもたちはどんな気持ちで見ていたでしょう。家族が美味しいと言って食べる様子を見て、どんな思いをもっただろうと子どもたちの心の中を覗き見たい気持ちになります。

7月のにこにこわくわく

なつって おもしろい!
～さくらんぼ組～



じっくり、じっくり!
試したり、繰り返し、
水も砂も不思議で面白い!



わ～い、わ～い!
噴水は気持ちいいよ!



ぞーっと ぞーっと!
トンボが遊びにきたよ。
ちょっと触ってみようかな?

8月の予定

- 1日(木) 救急車の写生会(年長児)
 2日(金) 誕生会
 7日(水) 身体測定(年中・年長児)
 8日(木) スイカ割り大会
 9日(金) 身体測定(年少児)
 布団持ち帰りの日①
 19日(月) 身体測定(0・1・2歳児)
 21日(水)～22日(木)
 中学生職場体験
 25日(日) ワックスかけ①
 28日(水) かもしかクラブ(年長児)
 30日(金) 避難訓練
 布団持ち帰りの日②

※汗をかくことが多くなるため、布団持ち帰りが月2回になります。ご協力をお願いいたします。

※河北中学校2年生が職場体験に来ます。

6名が年少・年中・年長組に入ります。

※行事や園外活動は、天候等の状況により、予定が変更になることがありますのでご了承ください。

お知らせ

職員人事のお知らせ

- ・2歳児さくらんぼ組担任 松崎美希指導保育教諭が、8/15 から産前休暇に入ります。さくらんぼ組には、渡辺弘恵保育教諭が入ります。
- ・栄養士の業務は、当面の間、系列園の栄養士が担います。
どうぞよろしくお願いいたします。

お盆期間中の保育について

お盆前後の出欠アンケートのご協力ありがとうございました。

- ・お盆期間中は、お休みするお子さんが多いことから、年次をまたいだ合同保育の時間が長くなります。
- ・8/13(火)～16(金)の登降園バスは運休になります。ご協力をお願いいたします。
- ・欠席する日は、コドモンの『連絡』で『病欠・都合欠』のご連絡を下さるようお願いいたします。(事前に、まとめて連絡をいただくことも可能です)



夏の健康について

いろいろな夏かせ

夏かせを起こすウイルスは、冬のものとは異なり、高温多湿を好むタイプです。せきや鼻水は少なく、肺炎などに進行することはまれです。夏に流行する主な病気に、プール熱、ヘルパンギーナ、手足口病などがあります。

- 発熱する
- 目の充血、痛みがある
- のどが赤くはれ、痛みがある
- 口の中やのどに水ぼうがができる
- 体に発しんが出る

これらの特徴がある場合や、いつもと様子が違うときは、必ず受診し、医師の診断を仰ぎましょう。

かゆみのある湿しんは「とびひ」かも

虫刺されや湿しんなどで傷ついた皮膚に細菌が感染して「とびひ(伝染性膿痂疹)」になります。うみをもったような水ぼうがができたり、かさぶたができたりして、強いかゆみが出ます。かゆいからといってひっかくと大変! とびひがどんどん広がってしまうのです。治りにくいじゅくじゅくした傷を見つけたら、つめでひっかかないようにガーゼで覆い、受診しましょう。

ぼくたちのつめも、忘れずに短く切ってね

